

◆建築関係の友人と飲んでいた時の話。「地鎮祭や安全祈願で神社行ったり、現場でお祓い受けるけど、全然宝くじ当たらないんだよね」…これが今の日本人の大方の感覚である。神は願いごとを叶えてくれる存在、そういう価値観がアタリマエになってしまった。

◆元日の歳旦祭も、様相が変わってきた。無料で景品がもらえる富くじには人も熱心に集まるが、肝心の祭典は「俺には関係ない」と「他人事」の表情を浮かべている。抽選が終わると、サーっと人がいなくなる。

◆北海道に「オンラインショッピング」と書いてお守りを通販している神社がある。私には大きな違和感がある。神の売買。物事の分別がつかない神職も増えているらしい。無明の時代だ。

◆私の勉強会（日曜講話）では、神には願いごとよりも感謝を捧げよう、と頻りに叫んでいる。私が居て、親が居て、祖父母が居て、先祖がいる。先祖をさかのぼると必ず神に行き着く。神は究極の先祖、命の親だ。神を大事にすることは先祖を大事にし、自分を大切にすることにつながる。

◆鉄道は人身事故の連続だ。日本では日に一〇〇人が自殺している。人が生きられない現代。希望が持てず、真理が見えない。神職は有料ご祈願のぬるま湯から脱して、人の道、生命の本当の話を積極的に説いていかねばならない。

◆水を飲もう。添加物の多い食事、飲み物は減らそう。肉体をキレイにすれば心もキレイになる。部屋も掃除しよう。要らない物は捨てて、大切なものを確かにしておこう。今は浄化の時代、問題山積である。世界、社会、個人レベルであらゆる淘汰と変革が求められている。汚れた自分は浄化の嵐に流される。神道は「常なる清浄」を説く。身も心も清浄にしておこう。

（かみお けいた 鴻徳神社神職）

BLOG ISSUE
日々是精進神職日誌BLOG <http://kotoku-j.cocolog-nifty.com>



流れる、流す、
そして流れる、流す

題字 青山杉雨先生



鴻徳神社社報
平成21年夏（第18号）

発行 鴻徳神社社務所 〒273-0122
千葉県鎌ヶ谷市東初富1丁目10番28号
TEL/FAX 047-444-6750 <http://www.kotoku-jinja.jp>

火曜 昼市

くぬぎ山駅前・田端青果店が
境内にて出張販売をします。

季節の野菜とフルーツで
健康になりましょう！

毎月第1火曜・正午から1時間
境内にて開催



（開催日）
7月7日
8月4日
9月1日
10月6日
11月3日



行事予定

Schedule

7月5日（日）11時 月次祭・日曜講話 #30

8月2日（日）11時 月次祭
16日（日）11時 日曜講話 #31

9月6日（日）11時 月次祭・日曜講話 #32

10月4日（日）11時 式年祭・日曜講話 #33
18日（日）11時 日曜講話 #34

11月1日（日）11時 月次祭・日曜講話 #34
15日（日）10時 生長の家講習会（幕張）

※7/19、8/2、9/20の日曜講話はお休みします。

宮司エッセイ

「地震・雷・火事・おやし」

連日のごとく血なまぐさい殺人事件が報道されて秋葉原や荒川沖での全くの他人の殺生を筆頭に極めて近い親族間の事件が累々として目に余る。六十年前、私達日本人が未曾有の敗戦を経験し、戦後の総貧乏で大変な飢餓を味わった時代も殺人事件はこれほど多くはなかったし、食に事欠いても人を危めてまで物品を奪うことは少なかったように思う。

かつて日本を支えてきた明治・大正生まれの人達は倫理的にもすっかりして社会の目も厳しく、現代の監視カメラ以上の威力を発揮したのだろう。戦前までは全体主義の思想が行き渡っていたのだが時代がくだるほどに個人主義が進行し自分さえよければという利己主義に変質して社会を蝕んでいる様に思う。戦前世代の心ある人たちは、現在の社会の動静を苦々しく、冷めた目でご覧のことであろう。

電車の中で傍若無人の態度、携帯電話や車内化粧など枚挙に暇がない。昔の人は他人の見ていない所で飲食、髪の毛をしごきながらの読書など決してなかった。一方、かつて常磐線車内で花札などの賭博飲酒が横行し眉をひそめたと聞くが、最近の乗客はそういった姿を見かけなくなつたことは、日本人の民度向上の一端と素直に善意に受け止めたい。

明治世代の人々が社会の中核に居た頃は政治家も威厳があったし、警察官や役人、教育者もプライドを持つて厳しかったし重厚で尊敬され、個人的にも謙虚であつたから今日ほど綱紀の乱れもなく、各家庭でも家長たる父が良くも悪くも頑固オヤジとして君臨し、どつしりと在し坐していたように思う。

(神尾 真司 鴻徳神社宮司・書家)

日 曜 講 話 Seminar



日 曜 講 話
～神ながら live～

毎月第1・3日 曜
午前11時～1時

※参加無料、申込不要

◆第三十回 (七月五日)

「神と人」直につながる」

「神棚の作り方とお札の意味、米は天照太御神のエネルギーがこもっている、自己観察を究めて「氣と波動」を読む神観の穢れ、人口とところの問題

◆第二十九回 (六月二十一日)

「食が人間をつくる」

「米・砂糖は精製されたものを食べない牛乳ではカルシウムを摂れない、発酵食品で腸内美化、フルーツで酵素摂取ソフトドリンクは砂糖の塊り、小松菜は有機のものを、色の濃い野菜を選ぶ

◆第二十八回 (六月七日)

「民族の帖」(神道日垣の庭宮主著・創芸社)

「言い訳をしてはならぬ、神々は人間の願いを聞く為には有るんじゃない、正直の頭に神が宿る、皆生きている意味がある、神道は躍動の道、日本の伝統の農作業が人を動かし地球を蘇らせる、心からの思いやりと籠もる言葉が最良の経文、人はみな今日一日生きるために今までの人生があるという生き方をすべき

”ココロに元氣”

「神ながらの道」をやさしく楽しく学びます。初めての方もお気軽に。

◆第二十七回 (五月十七日)

「産土の神のお話」(神道日垣の庭宮主著・創芸社)

「この神仏にお祈りしたら御利益がございますなどと言う所へ足を運んではならない、神を信じ神に頼るなかれ、苦楽を己が財産とせよ運命は自己と先祖の共同体、氏名に吉凶無し参拝は本当に真心ひとつ

◆第二十六回 (五月三日)

「岡田茂吉論文集」

「幸福の秘訣は一生懸命善事を行うこと、天国は美の世界で神様の御目標は真善美理想世界をお造りになること、御神意をさとれ、悪いことも浄化なのでドツチへ転んでも結構下座の行」神様は慢心を非常に嫌う、風水害の原因は天地間の浄化作用、幽霊はあるか、人間が心からの祭典で霊は非常に喜ばれる、信仰の醍醐味は神様にお任せすること

◆第二十五回 (四月十九日)

「水・いのち地球をきれいにする」

(創生水が開発された訳) 深井利春著・創生ワールド) 人類が健康になる為に洗剤を地球から無くす大切なものが自然のなかにある、洗剤を使わない生活で病気を治す、たましいを解放する水をより効果的に飲む方法

※七月から「月例勉強会」を「日曜講話」神ながら live」に改題しました。開催日は基本的に第一・三日曜ですが、七月以降不定期にお休みをさせて頂きまますので、一ページ目の行事予定をご確認ください。

参加者は毎回十人前後で順調に推移しております。新しいご参加の方を心よりお待ちしております。

小冊子「日々是、淡々と」

Booklet

収録テーマ
 「感謝」「教え育む」「神ながらの道」
 「人間観察」「霊主体従」「宗教」
 「自己肯定力」「徳とお金」「雑感」他



「日々是精進神職日誌2008」を
 小冊子にまとめました。(無料)

第3回 食育講演会

Special Lecture

- ◎あなたが心臓病に罹りやすいかテスト
- ◎日本人は西洋医学にすぐ頼る
- ◎自然農法と有機栽培との違い
- ◎減塩食品は実は怖い
- ◎添加物も農薬・化学肥料もない食べ物
が手に入るか
- ◎安価と高価、醤油はなぜ値段が違うか
- ◎自分に合った食べ物の探し方
- ◎お袋の味と袋の味(レトルト、スナック)
- ◎感謝して食べる
- ◎真の健康とは何か



平成二十一年五月二十四日
 午前十一時～一時
 「真の健康、本物の食生活」
 内閣府消費者教育専門家
 田内寛人氏

社務所のごあんない

社務所にて、各種教室・サークル活動を行っています。
 お気軽にお問い合わせください。
 一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

お問合せ TEL/FAX 047-444-6750 info@kotoku-jinja.jp

清和書道会 鎌ヶ谷教場

Seiwa shodokai

当社宮司・神尾鬼泉が主宰。
 書家・青山杉雨先生を師に
 都立名門日比谷高校の書道
 科を32年担当してきました。



教場では幼児から大人まで、
 懇切丁寧に指導をしています。
 毎週水曜日・土曜日10時～16時まで開塾。
 賞状書き、案内状などの筆耕もご相談ください。

<http://www.kotoku-jinja.jp/seiwa>

算数・数学 個別指導 神尾塾

Kamio juku

当社神職・神尾慶太の私塾
 です。寺子屋の雰囲気にて
 本物の個別指導を展開。



小・中・高校生、5科対応
 ですが、特に算数・数学の
 苦手な生徒に来て欲しい。
 確かな指導で点数を取らせませす。実績はパンフを
 参照。生徒の自己肯定力を育む真の教育をします。

<http://www.kotoku-jinja.jp/kamiojuku>

楽遊会

Rakuyukai

鎌ヶ谷女性サークルとして
 活動してもうすぐ10年。



手芸の製作とおしゃべりの
 お茶会を中心に毎週火曜日
 楽しく過ごしています。

毎年10月第4日曜は作品展を開催。例年200名程
 来場し、即売品はあっという間に売り切れます。
 収益金の一部はユニセフに寄贈しています。

おとなの学び舎

Otona no Manabiya

あなたが日常をイキイキと
 過ごすため、あなただけの
 学習プログラムを組みます。



脳トレ、簡単な英語など、
 あなたに合ったペースで。

無理なく、楽しく、週1回60分通ってみませんか。
 毎週木曜日11時。勇気の一步をお待ちしています。

シャボン玉EM石けん

Ecological Supply

地球環境とカラダにやさしい
 無添加石けんを各種販売しています。



- 化学物質一切不使用！
- EMは環境や人体に有益な微生物！
自治体やNGOが河川浄化に活用。
- 環境にやさしい！
石けんの排水は1日で水と二酸化炭素に分解され、
石けんカスは水中微生物の栄養源になり、生態系
にリサイクルされています。

昇殿参拝のお申込 Supplication

※お守りは随時授与します。

▼御札
特 (五四cm) 五千元
大 (四五cm) 三千元
中 (三六cm) 二千元
小 (一四cm) 一千元
羽子板 二千元

▼昇殿参拝 金三千元以上随意
▼「初穂料」

初宮詣、心願成就、家内安全、
交通安全、厄祓、自動車祓、他

各種ご参拝を申し受けます。
お気軽にご相談ください。

鴻徳神社について About "Kotoku-Jinja"



鴻徳神社の御祭神である五穀の大神
(五穀さま) は災厄を払い智慧と福德を
授ける靈験あらたかな御神霊であります。
皆様の厚いご信心により大神様のご神徳
に浴されますよう祈念いたします。

日々是生存スズメ日記 Suzume's diary

(編集後記)

生かされていることへの感謝。この気持ちで生き
ましょう。何がひとつ欠けても今のこの生活は営め
ない。携帯電話をなくしてはじめて分かる携帯電話
のありがたさ。感謝が本当にあれば、不満も文句も
出てこない。感謝の種はそこらじゅうに満ち満ちて
います。ありがとうございます。(K)

鳥は学習能力が高く、家のなかの間取り、
家族の顔、上下関係?を敏感に察知します。
食にも食欲で、特にお米は大好きです。京都
の伏見稻荷大社の参道ではスズメの焼き鳥を
売っていますが、これは稲を食い荒らす害鳥
としてのスズメを食べて稲作を守っていたと
いうことです。
それにしてもこの男(♂ですから)ラップ
をめくってスイカを食べ始めました。夏。

四年前の初夏、神殿の屋根から落ちてきた
スズメのヒナ。当時は産まれたばかりでまだ
ピンク色の肌が見えていました。そのスズメ
氏もこの六月でいよいよ五歳になりました。
顔つきはいよいよ熟年?らしく精悍であり
ます。スズメの寿命は大体十年程度らしい。
ただし、野鳥のスズメは外敵からの攻撃の為
平均寿命は一年ほどだそうです。



↑人間の年齢で40歳?

↓スイカの盗み食い



交通のごあんない

Access

◎電車の場合「新鎌ヶ谷駅」下車
東武野田線、新京成線、北総線

東口よりタクシーで5分
「東初富公民館」を目標に。

◎秋元病院から徒歩5分
東武ストア白井店から徒歩10分

◎自家用車の場合
五本松交差点から東初富公民館を
通過し、先の信号を右折。
※車は鳥居奥に入れてください。

